

「日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）」は、河川再生について共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に活動する団体です。またアジア河川・流域再生ネットワーク（ARRN）の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、海外の素晴らしい取組みを国内に還元する役割を担います。

目 次

Pages

➤ JRRN 事務局からのお知らせ	1
➤ 会員 寄稿記事	4
➤ JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ	11
➤ 会議・イベント案内	12
➤ 書籍等の紹介	12
➤ 会員募集中	13

JRRN 事務局からのお知らせ (1) JRRN Activity Report

「桜のある水辺風景 2014」優秀作品選考のお願い

2014 年の桜の水辺写真を取りまとめた「桜のある水辺風景 2014 写真集」の編集作業が完了しました。

本年は写真集の公開に先立ち、会員相互の交流促進を目的に、ご応募頂いた作品（55 点）の中から、JRRN 皆様に優秀作品を選考して頂くことを企画致しました。

優秀作品の選考後、7 月中旬には「桜のある水辺風景 2014」写真集と合わせて、優秀作品を発表させていただきます。また、優秀作品及び皆様からの投票数が多かった作品は写真集表紙にも掲載させて頂く予定です。

◎選考期間：2014 年 6 月 26 日（木）～7 月 9 日（水）

◎選考対象作品：頁右下 URL よりご覧頂けます

そこで、以下の選考対象作品の中から最も気に入った作品を一つお選び頂き、JRRN 事務局まで以下のいずれかの方法でご回答頂きたくお願い申し上げます。

◎選考対象作品 URL（PDF 7.2MB）

<http://jp.a-rr.net/jp/news/info/files/2014/06/JRRNsakura2014selection.pdf>

【回答方法 1】 優秀作品選考専用ページによる回答

JRRN 会員皆様宛に 6/26（木）にメール案内済の選考専用ページにアクセスし、設問に回答後、「送信」を押して下さい（匿名回答となります）。

【回答方法 2】 E メールによる回答

右上の質問に対する回答を本メール（info@a-rr.net）に直接返信して下さい。

<質問事項>

1. あなたの性別を教えてください。（男性/女性）
2. あなたの年齢を教えてください。
（10 代以下/20 代/30 代/40 代/50 代/60 代以上）
3. あなたが最も気に入った作品番号を一つ教えてください。（作品番号）
4. 最も気に入った理由は何ですか？（任意）
5. 本企画に対する感想、来年以降のご要望等があれば教えてください。（任意）



会員皆様のご協力をお願い申し上げます。

（JRRN 事務局・後藤勝洋）

「小さな自然再生」事例集制作プロジェクト進捗報告 ～第1回事例集編集委員会(6/9)開催

JRRN では、市民が河川管理者と連携して日曜大工的に取組める「小さな自然再生」に関わる事例集の制作を、本分野の有識者や若手有志と協働で進めています。本取組みの6月の活動を簡単にご報告させていただきます。

【1】事例集編集委員メンバーが決まりました

本企画に賛同し熱い志とともにご参加頂いた8名の公募委員と7名の学識委員による、計15名の事例集編集委員メンバーが決まりました。(表1)

【2】第1回事例集編集委員会を開催しました(6/9)

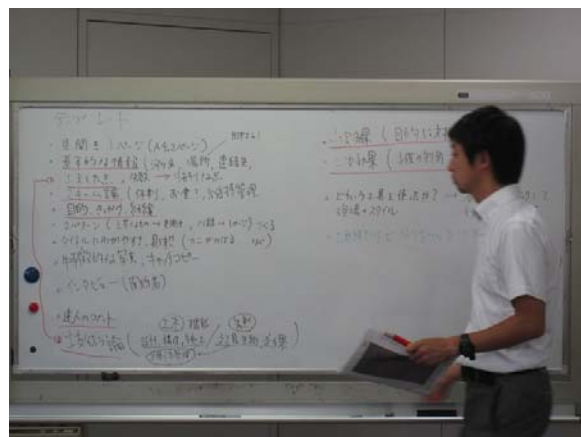
本プロジェクトのキックオフとなる第1回『小さな自然再生』事例集編集委員会を2014年6月9日(月)に開催致しました。

■日時：2014年6月9日(月) 15:00～17:30

■場所：(公財)リバーフロント研究所 会議室

■次第：

- (1) 開会挨拶
- (2) 委員 及び 事務局紹介
- (3) 「小さな自然再生」事例集制作企画概要説明
- (4) 議事
 - 1) 全体スケジュール及び編集方針
 - 2) 各委員及び事務局の役割分担
 - 3) 次回編集委員会までの作業スケジュール
 - 4) その他
- (5) 閉会



年末には素晴らしい事例集を皆様にお届けできるよう、編集委員及び事務局一同頑張っています。今後も本活動の進捗は本誌で随時ご報告させていただきますので、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。なお、本活動は(公財)河川財団の河川整備基金の助成を受けて実施しています。

(JRRN 事務局・和田彰)

表1 「小さな自然再生」事例集編集委員会 委員名簿

平成26年6月現在 (敬称略、五十音順)

氏名	所属	勤務地	学識委員	公募委員
伊豫岡 宏樹	福岡大学 工学部社会デザイン工学科	福岡県福岡市		○
岩瀬 晴夫	(株)北海道技術コンサルタント	北海道札幌市	○	
甲斐 崇	(株)四電技術コンサルタント	香川県高松市		○
菊池 佐智子	山梨県富士山科学研究所 環境共生研究部	山梨県富士吉田市		○
瀧 健太郎	関西広域連合 本部事務局	大阪府大阪市	○	
竹内 えり子	(株)建設技術研究所 東京本社環境部	埼玉県さいたま市		○
田中 五月	一般社団法人 ClearWaterProject	愛知県名古屋		○
中島 満香	プライスウォーターハウスクーパース (株)	東京都中央区		○
長山 昭夫	群馬工業高等専門学校 環境都市工学科	群馬県前橋市		○
浜野 龍夫	徳島大学大学院	徳島県徳島市	○	
林 博徳	九州大学大学院工学研究院	福岡県福岡市	○	
原田 守啓	(独)土木研究所 自然共生研究センター	岐阜県各務原市	○	
三橋 弘宗	兵庫県立大学 自然・環境科学研究所	兵庫県三田市	○	
宮尾 徹	(株)建設技術研究所 東京本社水システム部	東京都中央区		○
吉富 友恭	東京学芸大学 環境教育研究センター	東京都小金井市	○	

「平成 26 年度 第 1 回 JRRN 理事会」開催報告

2014 年 6 月 3 日 (火) に、日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)の平成 26 年度 第 1 回理事会が開催されました。2013 年 4 月に施行された JRRN 定款に基づき開催された今回の理事会では、以下に示す議案について議決を行い承認されました。

平成 26 年度 第 1 回 JRRN 理事会

1. 開催日時: 2014 年 6 月 3 日(火) 15:30-17:00
2. 開催場所: (公財) リバーフロント研究所 会議室
3. 議案:
 - 議案第 1 号 平成 25 年度 事業報告及び収支決算
 - 議案第 2 号 平成 26 年度 事業計画及び収支予算
 - 報告第 1 号 事務局の組織及び運営
4. 出席者
 - 代表理事 土屋 信行
 - 理事 伊藤 一正
 (佐合純造理事、白川直樹理事には、定款第 26 条に基づき事前に書面表決をいただいた)

また、JRRN 理事を交えて今後の JRRN 活動について意見交換を行い、国内外のネットワークの拡大や継続的に助成事業を展開していくことの重要性、来年の ARR/N/JRRN 設立 10 周年記念企画などについて協議を行いました。

理事会資料(平成 25 年度事業報告、平成 26 年度事業計画)については、下記ウェブサイトよりご覧になれます。

URL: <http://jp.a-rr.net/jp/news/info/455.html>



理事会の様子

(JRRN 事務局・後藤勝洋)

JRRN 事業報告 2013 発行案内

JRRN の 2013 年度(2013 年 4 月～2014 年 3 月)の活動を取りまとめた「平成 25 年度事業報告書」が完成しました。(A4 版、全 4 ページ)

JRRN では、河川再生について共に考え、次の行動へと後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じて各地域に相応しい河川再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目標に掲げ、2013 年度は以下の 5 つの活動に取り組みました。

- (1) 河川再生に関わる情報共有基盤整備
- (2) 河川再生の普及・啓発に向けた行事等の実施
- (3) 河川再生に関わる調査研究
- (4) 河川再生に関する冊子等の発行
- (5) 河川再生の推進に向けた国内外団体の支援や協働

今年度も、ネットワークに求められる繋げ役及び触媒的な機能を担いながら、河川再生に関わる情報共有基盤の更なる強化や国内外関係団体との協働活動に取り組み、河川再生の更なる推進に寄与する新たな価値を創出してまいりますので、よろしくお願い致します。



※「平成 25 年度事業報告書」ダウンロードはこちら
<http://jp.a-rr.net/jp/activity/annual/>

(JRRN 事務局・和田彰)

「第9回隅田川クリーン大作戦」への参加をとおして

寄稿者：瀬尾弘美（株式会社建設技術研究所 広報室・JRRN 会員）

2014 年 6 月 21 日（土）、隅田川流域クリーンキャンペーン実行委員会主催の「第 9 回隅田川クリーン大作戦」が行われました。この活動は、隅田川沿川の美化活動に取り組む市民団体、東京都行政関係者および隅田川に関心のある一般市民などが隅田川沿いの清掃活動を行うもので、株式会社建設技術研究所は、協賛企業として参画しています。

梅雨の最中でしたが、曇空に川風ありの、清掃活動にはこれ以上ないくらいの好天に恵まれました。清掃コースは 4 つで、浅草近くの桜橋から左右岸に分かれて下流に向かう 2 コース、佃島の大川端リバーシティ 21 にあるパティ広場から左岸側を上流に向かうコース、勝鬃橋西詰から右岸側を上流に向かうコースがありました。いずれのコースも最後は浜町公園に集結します。

全体の参加者は約 215 名（過去最大！）で、弊社からは社員やその家族・友人の 18 名が参加しました。集められたゴミは、500kg になったそうです。



参加した弊社メンバー

私自身は 3 回目の参加になりますが、今年は過去 2 回とは違うコースを清掃しました。興味深かったのは地先により、水際の整備内容が若干異なることです。水際にワンド状の部分の設けるなど動植物への配慮がうかがえる場所、利用への配慮をメインにした公園的な整備をしている場所など、いろいろです。整備した区による違いとのことでした。どんな整備がこの地域にふさわしいのか、興味のある方は、全部歩いて確かめてみてはいかがでしょうか。



清掃の様子

また、今年うれしい飛び入り参加もありました。フィンランドから観光目的で初来日した Jussi さん、心理学を学ぶ大学生だそうです。築地市場を見学後に周辺を散策していて、われわれに遭遇し、興味津々だったらしく、結局勝鬃橋のスタートからゴールまで一緒に清掃活動に参加してくれました。彼はゴール地点で、「来日 2 日目から、この様な素晴らしい機会に恵まれ、本当に嬉しく思います。また、川と周辺地域の環境改善に向けた参加者皆様の取り組みに感銘を受けました。(元は英語)」とスピーチしてくれました。弊社のチームでも、社員友人の国籍の違う 3 人が参加してくれて、インターナショナルな活動になりました。

以下に、弊社参加者の主な感想を紹介します。

沿川住民の方々の日頃のご努力で、かなり綺麗な環境を維持されていました。とはいえ、空き缶、タバコなどのポイ捨ては、まだまだマナー違反がありますね。来年は第 10 回という節目になります。みなさんも是非、ご参加を！

私は今回で 2 回目の参加です。中央区民としても、外国人としても、自分の住んでいる地域をもっと理解できたし、地域貢献もでき、すごく貴重で嬉しい経験でした。この機会を頂きまして、ありがとうございました。

整備や管理が比較的行き届いた区間の清掃でしたが、全体で 500kg を超えるゴミが回収されたことには驚きました。段ボール、お弁当容器、ペットボトル・空き缶、タバコの吸い殻等々、整備された場所だからこそ捨てられる可能性の高いゴミばかり。今回のような清掃活動は利用者の後始末的な活動ですが、協賛企業としては予防的・啓発的な活動を提案していつでもの良いのではないかと感じました。

フィンランドからの観光客の飛び入り参加に、参加者達が片言の英語で一所懸命もてなす姿を見て、日本ってやっぱりいい国だなあと感動。きっと初めて訪れた日本の好印象をお土産に帰国することと思います。

最後に、ご尽力いただいた実行委員会のみなさんにお礼を申し上げます。来年は、第 10 回記念として、イベント企画もあるかも、だそうで、とても楽しみにしています。みなさんもお一緒にいかがですか。

川で楽しむ、川を楽しむ為の“川遊び”に特化したアプリ&ウェブサービス 「川遊びマップ」リリースのご案内

寄稿者：伊藤梨生（一般社団法人 ClearWaterProject・JRRN 団体会員）

私たち ClearWaterProject は、河川環境のモニタリングツール「AQMAP」の開発・運用を通じて、様々な川の魅力や川遊びの楽しさに触れてきました。これらをもっと多くの人達に知ってもらい、興味を持ってもらう事で、河川環境活動へと繋がるような流れを作りたいと考えています。そこで、一般の人達でも楽しめる“川遊び”に特化した アプリ&ウェブサービス「川遊びマップ」をつくりました。

【サービス概要】

「川遊びマップ」は、ウェブとスマホからいつでも利用出来る川遊び専用ポータルサイトです。全国の川遊びスポットや周辺設備を検索できます。

【使い方】

▶ウェブサイト：パソコンで「川遊びマップ」を検索、もしくは、下記の URL にアクセスして下さい。

「川遊びマップ WEB」 <http://www.kawa-asobi.net/>

▶スマホ：iPhone、Android にてアプリをダウンロードして遊んでください。

【サービス内容】

- 1) 探す：全国の川遊びスポットが、目的に応じて地図上と一覧から検索出来ます。スポットまでの行き方を調べたり、ガソリンスタンドなどの周辺検索もできます。
- 2) 知る：川での色んな遊び方、また、川遊びには欠かせない安全情報について、知る事ができます。
- 3) 共有：川で遊んでいる写真や新たな川遊びスポットを投稿して、その楽しさをさらに多くの人と共有できます。（投稿機能は 8 月上旬リリース予定）

誰でも簡単に、身近な川遊び場所が探せることが一番の特徴です。アウトドアが大好きな人から、川辺でのんびり涼みたい人まで、より多くの人に“もっと川を身近に感じてもらい”“川遊びの楽しさを発見出来る”アイテムです。川遊びのスポットは、100 スポット以上掲載予定。今後、さらに増えていく。

親子や友達、仲間や恋人とのお出かけにぜひ活用してもらいたいアイテムです。

川遊びマップを使って、泳いだりBBQをしたり生きものと触れ合って、川を思いっきり楽しもう！



リリース情報は
下記サイトでチェック！

■川遊びマップ web サイト：
<http://www.kawa-asobi.net/>

■川遊びマップ FB サイト：
<https://www.facebook.com/KawaAsobiMap>

【本件に関するお問い合わせ】

一般社団法人 ClearWaterProject
TEL: 052-228-6181

E-mail：
kawa-asobi@clearwaterproject.info

川が好き 空にうつった 川も好き

(河川愛護月間推進標語 有國遊雲より)

7月



7月は河川愛護月間です。



川系男子の『川と人』めぐり No. 25～千綿川～

坂本貴啓 (筑波大学大学院 システム情報工学研究科 博士後期課程 白川直樹研究室『川と人』ゼミ)

『川と人』
めぐり

研究室のゼミ名『川と人』ゼミという言葉をもじって、『川と人』めぐりのタイトルで連載していきます。テーマは川と人。川が好きではない『川系男子』が川めぐりをしながら、川への思いや写真・動画などをご紹介します。

♪一番星みつけた
あれあの森の 杉の木の上に

(唱歌『一番星みつけた』 作詞：生沼勝，作曲：信時潔)

図1 東彼杵町の河川と千綿川
(東彼杵プロジェクトチーム作成の図を加筆修正)

図2 ホタル観賞会の行われる場所 (川は右)

1. ほたるの季節

5月中旬になると、九州地方の各河川でホタルが飛び始める。そのままホタル前線は北上し、関東付近は6月中旬から下旬にかけて舞う。

ホタルの光り方には東日本型と西日本型がある。東日本は2秒間隔とゆっくり光るのに対し、西日本では1秒間隔で点滅のように光る。どうして点滅時間に差があるかはあまりよく分かっていないようだが、なんらかの環境要因の差が影響しているようだ。

ほたるを見るとどこかほっとした心地がする。長い間、水の中・土の中で過ごし1週間しか地上にいられず、儚い光である。命を削って光る姿にその時々の自身の心情と重ね、光の一つ一つに想い出がよみがえる心地にさせられる。今回は今年の蛍鑑賞と高校時代の蛍のことを書きたい。

2. 千綿川のほたる

2014年5月31日～6月1日にかけて長崎県東彼杵町へ行った。東彼杵清流会の池田さんから「蛍が飛ぶ頃に千綿川に蛍を見に来い。」と言われていたので、研究室の新人後輩一人を連れて行ってきた。

東彼杵町は人口約8900人の小さな町で、町の主要河川としては北から彼杵川、千綿川、串川、江の串川の4川がある(図1)。その中の千綿川は全長11.9 km、流域面積27.46 km²、平均河床勾配1/14の河川である。非常に河床勾配のきつい河川で、河口から2 km程度遡っていくとすぐに溪流風景になる。

千綿川の河口から2 kmほど遡ったところに八反田郷がある。この地区には千綿川の清流を守ろうと八反田郷自治会愛護会が活動している。今回はその風景を皆で楽しもうと初の蛍祭りが開かれた(図2)。



図3 夕暮れの押し迫った千綿川

夕暮れが近づいた頃（図3），千綿川蛍祭りの会場を訪ねた．蛍祭りの会場は山際の棚田の畔の広場にテントが設けられており，自治会の人らにより，子供たちにジュースやお菓子が配られていた．子供達は畔を走りながら，川沿いまで近づき，蛍が出るのを今か今かと心待ちにしている．千綿川の川沿いは右岸側が棚田，左岸側が山際になった溪流である．「日本の田舎」とはどこかと聞かれたら，ここはその代名詞にふさわしい風景である．谷間を水が流れ，溪流に蛙の大合唱が響く．合唱が大きくなるにつれて闇が溪流に迫る．大人達は八反田郷の溪谷が見渡せる上段にある地区の人の個人の別荘「聖流庵」で夕涼みをしながら，蛍が舞い始めるのを待っている．

子供も大人も蛍の登場を心待ちにした頃，溪谷の底からふわっとした光が舞いあがってきた．光はどこからともなく次々と現れ宙を舞い，やがて山際の木にも派生し溪谷全体が光を帯びた．この場所には堰があるが，そこから一筋の水路が棚田中段に伸びているが，その水路に沿って光は乱舞し，水みちもはっきりと照らしている．目の前に広がる蛍の乱舞に鑑賞する大勢は静かに酔いしれた．すると，池田さんは静かに語り始めた．「自分も若い頃は道に迷い，自分のやるべき仕事（キャンピングカーの職人）を見つけられるまでかなり時間がかかった．坂本くんも時間をかけて自分のやりたいことを磨かんね．」大学に長く残る選択をし，常に道に迷い続けている自身にとって大いに勇気づけられ，応援の言葉は千綿川の蛍の光とともに心に刻まれた．

聖流庵のオーナーの永富さんから「夏はここを拠点にして，調査研究活動をしてもらっていいですよ．」とありがたいお言葉をいただいた．地元の人と交流しながら蛍の夕べは更けていった．



図4 下流部のうなぎ塚



図5 上流部の龍頭泉（千綿溪四十八潭^{ふち}）

3. 千綿川の魅力

千綿川は全長 11 kmほどの短い河川だが，上流から下流まで見所が多い．まず，下流域にはうなぎ塚（図4）という伝統的なしかけがCの字型に並んでおり，この中にうなぎが入る．内水面組合により管理されていて，うなぎ塚一つ一つは競売にかけられ，塚によってうなぎのとれる確率が違うため，値段もことなるそうだ．

また，上流域には溪谷が広がっている．文化2年（1845年），日田生まれの儒学者・広田淡窓は大村藩主に招かれ，この地を訪れる．その際にこの地の雄大な自然美に驚嘆し『千綿溪四十八潭^{ふち}』と自ら命名し，それぞれの場所に名前が付けられている．下流から玉すだれ淵，蓮花淵，白木淵，霜降の滝，呑空淵，静止淵，木葉不浮淵などがある．中でも有名なのは龍頭泉（図5）である．儒学者が160年以上も昔にこの地を訪れ，千綿川の価値を見出していたことは現在においても誇るべきものである．さらに



図6 鹿の丸池（四ツ池）



図7 初夏の大野原高原

千綿川の水源となっている池の一つに鹿ノ丸池（図6）がある。これは東彼杵の四ツ池の一つで、江戸時代に鯨漁で富を得た深澤義太夫が私財を投げ打って、大村藩の新田開発のために開発した。現在でも重要な農業用ため池として使用されており、ため池の文化的価値も非常に高い。

また、さらに千綿川の上流域の一部は大野原高原（図7）になっており、なだらかな丘陵地が広がっている。冬に訪れた時には枯草の草原であったが初夏の高原は若々しい緑が芽吹き、そよ風がそよいでいた。

このように千綿川だけみても東彼杵には美しい風景と文化的景観が数多く残っており、先人からの宝の風景は今も美しさを誇っている。

初夏の千綿川に蛍が見えたように、次回8月に訪れる際には川の中に入り、新たに価値あるものを発掘していきたい。



図8 本の中から出てきた高校時代の原稿

4. 蛍への想い

小学校、中学校、高校と蛍にはその時々には様々な思い出がある。以前、小学校、中学校時代のホタルの思い出を書いたので、今回高校時代のホタルの思い出を少しご紹介したいと思う。

この前自宅を整理していたら色褪せた原稿用紙が出てきた。高校1年生の頃に連休中の宿題として出され、何か未来の自分のことを書いてこいというもの。連休最終日に好き勝手に書いたものだったが、国語教師の目にとまり高校の文化祭の弁論大会で発表することになった。国語教師に元原稿を何度も修正されながら、発声の練習、立ち振る舞いなど放課後の教室で特訓したのを思い出した。ちょっと恥ずかしい部分もあるが、その時の原稿がこれだ（図8）。

【失いたくないもの】

（2003年6月鞍手高校弁論大会原稿：高校1年時）

♪ほー ほー ホータル来い あっちの水は苦〜い
ぞ こっちの水は甘〜いぞ ほー ほー ホータル
来い♪

夕闇の押し迫った川沿いでは、今日も蛍歌を歌う子供たちの声が、仕事を終えて家路を急ぐ私の耳に、どこからともなく響いてきます。

今年で四十五歳になった私は、環境省の研究所に勤める研究者の一人です。ホタルの生態を通じて、環境保全を促進するのが私の仕事です。

ホタルをどうしたら川に呼び戻すことができるのか？そして三十年来の私の最大の課題は、ホタルの生息数を増やすにはどうしたらいいのか？というこ

とでした。

近頃では、私の年来の研究が実り、ホタルの生息数が確実に増えてきているという報告が全国から私の元に寄せられてきます。私が、ホタルの繁殖を促進する植物を発見したことがそのきっかけになったことは、みなさんの中にご存じの方もいるでしょう。

この研究成果を上げることができたのも、高校一年生のときのあの夏の小さな経験があったからです。

鞍手高校に入学して最初の夏、化学部に入部して文化祭の準備に忙殺されていた私は、遅い帰宅の道を川沿いに急いでいました。

♪ほー、ほー、ホータル来い♪

子供たちの歌声がします。私は自転車を止めました。声のする方に目を凝らしてみると、小学生ほどの子ども達が数人、橋の上に腰掛けて蛍歌を歌っています。

♪あっちの水は苦〜いぞ

橋の下は夢見るような、たくさんのホタル達の光りの劇場です。

水面を照らし出す優しい光、涼やかな川のせせらぎ、子供達の歌声、初夏の夜風が辺り一面をやわらかに吹き抜ける中、私もまたいつしか橋の上に腰掛けて、しばし飛び交うホタルの姿に見入っていました。

どれくらいの時が過ぎ去ったことでしょうか。夜の帳はもうすっかり降り尽くし、いつの間にか闇の中に取り残されていた私は、そろそろ帰ろうと立ち上がりました。

♪こっちの水は甘〜いぞ

闇の中から幻のように立ち上ってきた子供たちの歌声が、瞬間に私を捕えました。

「そもそも甘い水、苦い水というものがあるのだろうか？」

ひとたび沸き起こった疑問が次の疑問を呼び覚まします。

「蛍に甘い水を飲ませるとどうなるんだろう？」

居ても立ってもいられなくなって、私はすぐさまホタルを捕まえて、実験してみることにしました。砂糖水を与えたホタルと、普通の水を与えたホタル

と別々に分けて飼育をしてみました。

結果に驚かされました。砂糖水を与えたホタルの方が生存日数が長く、さらに産卵数も倍以上に増えることが分かったからです。大発見でした。

疑問がさらに湧いてきました。自然界に砂糖水そのものが存在するのだろうか？もちろん存在しません。とすれば、甘い汁を分泌する植物の存在が考えられます。その植物を特定し、その植物を水辺に生息させて全国的に繁茂させれば、将来的には、ホタルの生息数を増やすことができ、環境問題の解決に大いに貢献できるのではないだろうか。

こうして私は、長年かけて、ホタルに良い影響をもたらす植物を探し始めました。

そして三十年かけてついにその植物を発見し、たくさんのホタルが生息できる現在の環境に至っているわけです。今、私はたくさんのホタルに囲まれて、この上なく幸せです。

・・・・・・と今まで語ってきた話が私の理想であり、私の夢です。私は最近になってホタルの研究を始めました。きっかけは子供たちの蛍歌でした。もちろん、まだ三十年後のような発見には至っていません。

しかし、いつの日か必ず発見をし、たくさんの蛍を川へ戻してみせます。そしてその時こそ、再び日本のあちこちの川べりで、子供たちの蛍歌を聴くことができると私は信じています。

♪ほー ほー ホータル来い♪

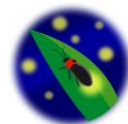
今日もまた、子供たちの歌声が聞こえてきます。ご清聴ありがとうございました。

今年の千綿川のホタル、高校時代の蛍の弁論原稿。それぞれ蛍に関わる記憶の一つとしてここに大切に記しておきたい。

【筆者について】

坂本 貴啓（さかもと たかあき）

1987 年福岡県生まれ。北九州市で育ち、高校生になってから下校途中の遠賀川へ寄り道をするようになり、川に興味を持ち始め、川に青春を捧げる。高校時代にはYNHC（青少年博物学会）、大学時代ではJOC（Joint of College）を設立して川活動に参加する。自称『川系男子』。いつか川系男子や川ガールが流行語になることを夢みている。筑波大学大学院 システム情報工学研究科 博士後期課程 構造エネルギー工学専攻在学中。白川直樹研究室『川と人』ゼミ所属。研究テーマは『河川市民団体における活動量の定量的分析』と題し、河川市民団体の活動がどの程度河川環境改善の潜在力を持っているかについて研究中。最近のお気に入りにはプールで素潜りの練習をすること。



水辺からのメッセージ No.62

岡村幸二 (JRRN 会員)

千年の時を想う：
“青丹よし 奈良の都は 咲く花の にほうがごとく 今さかりなり”



撮影：2014 年 6 月（奈良県・奈良市登大路町）

◆最盛時は、青や朱の華やかな色で満たされていた

奈良の興福寺は、藤原鎌足の死後の幸福のために建てられた山階寺が、飛鳥に移されて厩坂寺となり、さらに平城遷都で移建されたと伝えられています。興福寺のある場所は近鉄奈良駅から東に坂を上る高台に広がりますが、すぐ斜面地となって猿沢池に続きます。池に映る興福寺の五重塔は、奈良を代表する風景のひとつです。

■ JRRN 会員皆様からの寄稿記事を募集しています！

旅先で見かけた水辺の風景や思い、水辺再生に関わる様々な活動報告、また河川環境再生に役立つ技術等、JRRN 団体・個人会員皆様からの寄稿記事をお待ちしています。(JRRN 事務局)

【JRRN 会員からの提供情報】

■「ゲリラ豪雨展」&「雨といきもの展」最新スケジュール案内

JRRN も活動に参加する「水の巡回展ネットワーク (jawanet)」より、二つの巡回企画展の今後の開催スケジュールのご案内です。



- ◆ 渡良瀬川せせら (栃木) ……平成 26 年 7 月 1 日 (火) ~ 7 月 31 日 (木)
- ◆ 芦田川見る視る館 (福山) ……平成 26 年 8 月 9 日 (土) ~ 8 月 24 日 (日)
- ◆ 川の駅はちけんや (大阪) ……平成 26 年 8 月 27 日 (水) ~ 10 月 8 日 (水)
- ◆ 北上川学習交流館あいぼと (岩手) ……平成 26 年 10 月 12 日 (日) ~ 11 月 3 日 (月)



- ◆ 宮城県石巻市中瀬地内 (宮城) ……平成 26 年 7 月 4 日 (金) ~ 7 月 27 日 (日)
- ◆ 国営みちのく杜の湖畔公園 (宮城) ……平成 26 年 8 月 1 日 (金) ~ 8 月 31 日 (日)
- ◆ 青森県営浅虫水族館 (青森) ……平成 26 年 9 月 6 日 (土) ~ 9 月 28 日 (日)

◆ 詳細は右記参照: <http://www.a-rr.net/jp/jawanet/>

【JRRN 会員からの提供情報】

■「身近な水の水環境科学 [実習・測定編] - 自然のしくみを調べるために -」新刊案内

田代喬様より新刊書籍をご案内頂きました。

- 著者: 日本陸水学会東海支部会 編
- 判型: A5
- 頁数: 192
- 発刊日: 2014/6/20
- 定価: 2,916 円 (税込)
- 出版社: 朝倉書店
- 内容:

河川や湖沼の地形、水理、水質、生物に関する野外調査や室内分析の実用的手法を網羅的に解説。



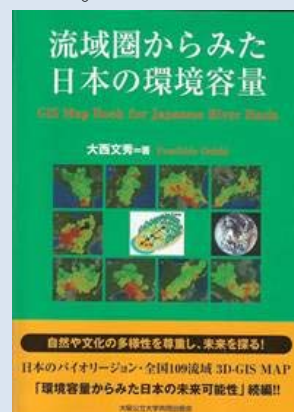
◆ 詳細は以下参照
<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/1661.html>

【JRRN 会員からの提供情報】

■「流域圏からみた日本の環境容量-日本のバイオリジョン・全国 109 流域 3D-GIS MAP」謝恩案内

大西文秀様より、全国 109 水系の流域を対象にした新刊の謝恩割引案内を頂きました。

- 著者: 大西文秀
- 判型: B5、上製本
- 頁数: 222 (オールカラー)
- 定価: 3,200 円 (税別)
- 出版社: 大阪公立大学共同出版会・OMUP



◆ 詳細は以下参照
<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/1669.html>

【JRRN 会員からの提供情報】

■禹王サミット in 広島 禹護碑から学ぶ、禹王と治水 (10/18-19)

古賀河川図書館 (JRRN 団体会員) の古賀邦雄さんより河川文化に関わるイベントのご案内を頂きました。

- 日時: 2014 年 10 月 18 日 (土) ~ 19 日 (日)
- 場所: 広島県国際会議場 他
- 主催: NPO 法人佐東地区まちづくり協議会



◆ 詳細は以下参照
<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/1647.html>

【JRRN 会員からの提供情報】

■平成 26 年度いい川づくり研修会 - 第 1 回 東予地区 (7 月 29 日)

「鞍瀬塾」様より、愛媛県西条市で 7 月に開催される「平成 26 年度いい川づくり研修会 - 第 1 回 東予地区」のご案内を頂きました。(申込〆切: 7/22)

- 日時: 2014 年 7 月 29 日 (火) 10:30-16:30
- 場所: 西条市石根公民館つばきホール
- テーマ: 生物多様性地域連携の取組み

◆ 詳細は以下参照
<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/1681.html>



【海外からの提供情報】

■「RRC (英国河川再生センター) の最新会報 (Bulletin)」ご紹介

RRC の最新会報 (2014 年 6 月号) を RRC 事務局より送付頂きました。



本号では、「RRC Natural Flood Management workshop」報告、RRC 年次報告会の参加者意見、RRC 諸行事案内などが登場しています。

◆ 詳細は以下参照
<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/1676.html>

(国内の河川・流域再生に関する主なイベント)

■第 12 回 河川財団研究発表会

○日時：2014 年 7 月 17 日 (木) 13:00-17:15
○主催：公益財団法人 河川財団
○場所：砂防会館 別館 1 階シェーンバッハ・サボー
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/1913.html>

■平成 26 年度いい川づくり研修会 ※前頁参照

○日時：2014 年 7 月 29 日 (火) 10:30-16:00
○主催：鞍瀬塾事務局
○場所：愛媛県西条市石根公民館つばきホール
<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/1681.html>

■平成 26 年度 河川整備基金助成事業成果発表会

○日時：2014 年 7 月 29 日 (火) 9:30-18:30
○主催：公益財団法人 河川財団
○場所：砂防会館 別館 1 階シェーンバッハ・サボー
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/1931.html>

■ミツカン水の文化センター第 19 回里川文化塾

○日時：2014 年 8 月 2 日 (土)、8 月 9 日 (土)
○主催：わくわく・すいすい「水辺探検」実行委員会
○場所：日本橋船着き場発着
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/1927.html>

■水シンポジウム in ながさき

○日時：2014 年 8 月 21 日 (木)～22 日 (金)
○主催：第 19 回 水シンポジウム実行委員会
○場所：長崎ブリックホール・大ホール
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/1924.html>

■応用生態工学会 第 18 回大会 (東京大会)

○日時：2014 年 9 月 18 日 (木)～21 日 (日)
○主催：応用生態工学会
○場所：首都大学東京 南大沢キャンパス 12 号館
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/1911.html>

■第 7 回いい川・いい川づくりワークショップ

○日時：2014 年 9 月 20 日 (土)～21 日 (日)
○主催：いい川・いい川づくり実行委員会
<http://jp.a-rr.net/jp/news/event/1921.html>

■禹王サミット in 広島 ※前頁参照

○日時：2014 年 10 月 18 日 (土)～19 日 (日)
○主催：NPO 法人 佐東地区まちづくり協議会
○場所：広島県国際会議場 他
<http://jp.a-rr.net/jp/news/member/1647.html>

(海外の河川・流域再生に関する主なイベント)

- 2014.7.21-25(マナウス/ブラジル) 2nd Int. Conf. on the Status and Future of the World's Large Rivers
- 2014.9.2-5(カタローニャ/スペイン) Cong. on Industrial and Agricultural Canals
- 2014.9.15-19(キャンベラ/豪州) 17th International Riversymposium
- 2014.9.21-26(リスボン/ポルトガル) IWA World Water Congress & Exhibition
- 2014.9.21-24(ハノイ/ベトナム) 19th IAHR-APD 2014 Congress
- 2014.9.28-10.2 (ハンブルク/ドイツ) 11th International Conference on Hydrosience & Engineering
- 2014.10.27-29 (ウィーン/オーストリア) European River Restoration Conf. 2014
- 2014.11.19-21 (マリキナ/フィリピン) 2nd Philippine International River Summit
- 2015.3.6-8 (ダッカ/バングラ) 5th Int. Conf. on Water and Flood Management
- 2015.4.12-17(Daegu/韓国) 7th World Water Forum
- 2015.6.28-7.3(ハーグ/オランダ) 36th IAHR World Congress

書籍等の紹介 Publications

■ 東京 2020 計画地図 (2014.2 発刊)

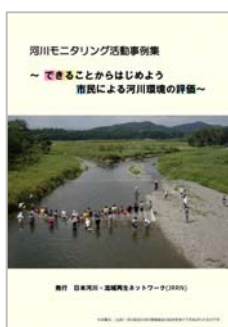
- ・編著：東京都市計画研究会
- ・出版社：かんき出版
- ・価格：1,470 円
- ・ISBN-13：978-4761269746
- ・出版年月：2014 年 2 月



JRRN 代表理事・土屋信行がメンバーに属する「東京都市計画研究会」編集の新刊本です。
「銀座に川がよみがえる」「川・運河を観光船が走りまわる」など、2020 年の東京の川や水辺に関わる話題も豊富に登場しております。

■ 河川モニタリング活動事例集～できることからはじめよう 市民による河川環境の評価～(2014.3 発刊)

- ・執筆協力：河川再生に携わる市民団体や行政機関
- ・発行：日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)
- ・出版年月：2014 年 3 月



市民が主体的に取り組む河川環境のモニタリング活動の実態を調べ、各地のモニタリング活動事例や市民による河川モニタリング活動の更なる活性化に向けたヒントを紹介しています。

※本冊子の入手方法

JRRN 事務局までご連絡ください。送料のみご負担頂いた上で、無料で提供致します。(JRRN 会員限定)
info@a-rr.net / 電話：03-6228-3862

■ JRRN の登録資格（団体・個人）

JRRN への登録は、団体・個人を問わず無料です。
市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、
所属団体や機関を問わず、河川再生に携わる皆様のご
参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

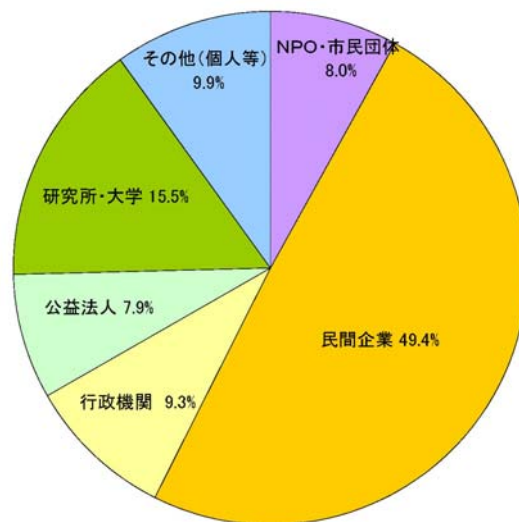
会員登録をされた方々へ、様々な「会員の特典」を
ご用意しています。

- (1) 国内外の河川再生に関するニュースを集約した
「JRRN ニュースメール」が週 1 回メール配信され
ます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が
入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加
することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集
の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベ
ント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川
再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援
を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/member/registration.html>



2014 年 6 月 30 日時点の個人会員構成
(個人会員数：663 名、団体会員数：53 団体)

JRRN 会員特典一覧表(団体会員・個人会員)

提供サービス	JRRN 個人会員	JRRN 団体会員	非会員 (一般)
1 ホームページへのアクセス及び記事へのコメント入力 ※1	◎	◎	◎
2 ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 ※2	◎	◎	◎
3 ニュースメール(週1回)の配信 ※3	◎	◎	×
4 Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信 ※3	◎	◎	×
5 JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加 ※4	◎	◎	×
6 国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援 ※5	◎	◎	×
7 ホームページ「会員からのお知らせ」内及びニュースメール「会員からのご案内」欄で団体が関わる行事・出版物・製品等の案内の掲載 ※6	△※7	◎	×
8 ホームページ「会員登録状況」「国内団体」内及び年次報告書内で団体名の掲載	×	◎	×
9 ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信 ※8	×	◎	×
10 JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援 ※9	×	◎	×

会員特典詳細はウェブサイト参照：<http://www.a-rr.net/jp/member/benefit.html>

【お気軽にお問い合わせください】

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局



〒104-0033 東京都中央区新川 1 丁目 17 番 24 号 新川中央ビル 7 階

公益財団法人リバーフロント研究所 内

Tel:03-6228-3862 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net

URL: <http://www.a-rr.net/jp/> Facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>

JRRN 事務局は、「アジアにおける河川再生のためのネットワーク構築と活用に関する研究」の一環として、公益財団法人リバーフロント研究所と株式会社建設技術研究所国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。

